

□総務環境委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
DX推進	<ul style="list-style-type: none"> 電子回覧の検討はされているのか。石川県では電子回覧が行われ、ペーパーレスを実践している。スマホを持っていない住民にタブレットを貸与し、Wi-Fi環境も整えているが、高山市は参考にできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高山市では、DX推進計画を策定し、人にもやさしいデジタル化を進めており、市民が行政手続きをオンラインで出来るよう市民サービスの利便性向上を図っています。また、電子回覧についても検討を進めているところです。 議会においては、DX推進について、デジタルに慣れない方をどのようにフォローしていくかも課題と考えており、人的サービスも含め、誰でもデジタルで快適な暮らしができるように、引き続き調査研究してまいります。
地域振興	<ul style="list-style-type: none"> 合併して18年になるが、支所地域の活性化が弱ってきている。地域振興予算を考えられないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 第八次総合計画では、支所地域のまちづくり協議会を中心に地域活性化に取り組んでいるところです。また、1月からは、庁内に地域政策課が新設され支所やまちづくり協議会との連携で地域振興を進めています。議会においても、地域振興策のあり方について議論を深めてまいります。
防災	<ul style="list-style-type: none"> 防災活動については、飛騨川の氾濫の経験では、孤立集落や国道の通行止め等の課題もあった。大きな町内では訓練やシミュレーションが可能だが、小さな町内では、対策が困難な状況もある。また、地域の防災上の特性についても正確な理解が共有されていない。避難所の運営についても同様に指示系統や管理責任についても不透明である。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災対策では、日頃から自分たちの地域の実情や特性を把握し、その地域に合わせた地区防災計画を策定することが大切であり、避難所の運営についても行政やまちづくり協議会と連携して事前の運営体制を訓練などで確認しておくことが必要と考えます。さらなる防災対策の強化推進について議論を深めます。

□福祉文教委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会やまちづくり協議会の役員が成り手不足であり、特に地域によってまちづくり協議会の役員報酬等に差があるので、公正な予算配分が必要である。 ・まちづくり協議会から情報提供書を提出するが、回答が単純で熟慮された内容になっていない。 ・祭礼に対して役員や人足の割り当てがあり個人の負担がある。高山祭を観光産業の重要要素と認めているならば、実態調査をして把握してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各役員の成り手不足は課題として捉えています。特にまちづくり協議会については、まちづくり協議会の位置づけがしっかりしていないことから、自治基本条例を制定し、しっかり位置づけをするべきと考えています。 ・地区要望に対する範囲と内容には限りがあり、行政が自ら対策する案件との区別がしっかりできていないと考えています。 ・祭文化がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、その維持と保全、後継者育成や運営費の問題は、個々の氏子や地域だけの問題ではなくなっています。行政に実態の調査を働きかけ、議会としても調査研究を進めます。
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・支所地域では、JA等の閉店により、食料品や日用品などの買い物が困難になっていくこととなるが、買い物支援対策を進めてほしい。 ・支所地域では少子高齢化が深刻化している。ヘルパーに従事する人も減っていることから、高齢者の家族や独居の方々の支援を真剣に考えていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活必需品の購入が困難となることは、大きな課題として受け止めています。移動販売の支援が必要であると考えます。また、公共交通機関の整備などの面からも買い物支援に関する調査研究を進めます。 ・支所地域で不足している訪問サービスの提供を促進するため支所地域訪問サービス確保事業が始まっていますが、事業の実施状況を見極める中で、支所地域における訪問介護や住民による互助の取組等の充実を求めます。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談における人員や場所を確保して多種多様な相談に対応してもらいたい。 ・子育て・教育・暮らしに魅力ある街にしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける孤立は大きな課題と捉えています。ファミリーサポート事業が支所地域にも拡大するための支援も含め調査研究します。 ・様々な魅力づくりや移住定住策に取り組んでいますが、更に有効な取組がないか、他の自治体も含め調査研究を進めます。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の減少から、社会性やコミュニケーション不足が心配である。学校区の再編が必要でないか。 ・部活動が地域移行して行く中、指導者の確保・練習場所の確保・保護者の負担が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会も教育委員会も学校区の再編は必要な状況と捉えています。市からの一方的な境界線提示は地域に受け入れられ難く、まずは市民に子どもたちの現状と将来を理解して頂くことが先決と考えています。 ・部活動の地域移行は課題が多いと受け止めており、今後調査研究します。
火葬場整備	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場建設について、早急に決定して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新市長の公約には「候補地変更の可能性を含め、今一度検証し早期に決定する」とあります。議会としては検証内容の妥当性をしっかり議論しつつ早期の建設を求めています。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・市としての医療水準・介護の体制についての考えは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院がなく、日赤・久美愛に頼らざるを得ない状況で様々な支援策を講じています。市の責任としては医師の確保や医療水準の明確なビジョンを示すべきと考えています。議論していきます。

□産業建設委員会

テーマ	市民からの主なご意見	現時点での議会の考え方
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加が著しく地域の活力低下が心配される。責任ある相続についても投げかけをしているが既存の法体系の下での解決は難しい。更地にすることによって固定資産税が上がることも障壁となる。空き家バンクの成約率が高いと聞いているが法整備や規制緩和についても議論いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市は空き家活用コンテストや空き家バンクなどに取り組んでいるところです。より有効な施策を模索するとともに全国的な問題として国や県とも連携を深め、この問題に対処していくよう市に働きかけていきます。
公共交通・安全・道路	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の歩道確保、防犯灯、ガードパイプ等の安全策は。 ・中橋界限における上町の交通問題協議会について、平成28年から6年間は何もなかったが今年10月に見直しの提案を受けた。令和6年の達成に向けて大型区画の廃止等、市の計画は。 ・石浦バイパス第2工区に進展がない。早く進めてもらう方法はないか。 ・支所地域のバスやデマンドタクシー等、公共交通の利便性について研究をする必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保の調査などを市に求めます。 ・従前からの課題であり、交通規制とまちなみ観光の調整を今後も検討しなければならないと認識しています。協議会の進捗については調査します。 ・石浦バイパスは全体では令和3年度末で進捗率48%です。現在、調査や設計を進めていると聞いています。 ・幹線バスや市の自主運行バスが連携して地域の移動確保に向けた検討が必要と考えており、議会でも更なる公共交通の利便性の向上について研究していきます。
移住定住・観光・農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の減少をどう捉えているか。少子高齢化は耕作放棄地の増加等地域の持続性も著しく低下させる。移住定住の促進策は。 ・亀山市関宿は30年かけて協力してくれる人を中心に宿場町を再現整備された。観光客が何を求めて高山を訪れるのか価値の棚卸が必要と考える。 ・米作りは赤字。田圃も耕作放棄地になりつつあり景観上良くない。後継者も不足。水張り減反は机上の空論。国へ声を上げてほしい。 ・山林の維持管理について議会の考えを教えてください。 ・岩滝の山奥ではイノシシの被害が大変な問題となっている。特にイノシシの檻に熊を逃がすための穴が開けてあるがイノシシが逃げてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特有の魅力を磨き上げること、教育からの地道な郷土愛の醸成についても支援できるよう議論を深めます。 ・観光は裾野が広い産業であり、持続可能な観光のあり方について市民の皆さんや行政と情報を共有しながら推進しているところです。 ・農業委員会からも意見が出ているところであり、議会として水田活用直接支払交付金の見直しの中止等を求める意見書を国へ提出しました。 ・境界の明確化、作業道の確保など、森林環境譲与税の有効な用途について議会でも取組を進めているところです。 ・穴は熊を守るために開けてありますが、ご意見は県の猟友会、市の担当課に伝えます。
協働・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・まち協を通じた地域要望の情報提供書では土木施設復旧が取り上げられない。 ・防犯カメラ設置の要望を出したが市には補助金制度がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の情報提供書への対応について市民からの声として伝えます。 ・防犯カメラについては市として設置は行わない方針であると聞いていますが、市民から設置を求める要望が多く上がっていることを伝えていきます。